

調達制度のゆがみが阻む 技術革新

一般社団法人 全日本建設技術協会 会長 おお いし ひさ かず
大石 久和



わが国のある大学では、すべての調達に対して随意契約を行わないことを決めた例があると紹介したことがある。これに対して、随意契約なしでアメリカNASAの技術開発は進むのだろうかとも記した。

技術の進歩や工事の進捗をストップさせた随意契約忌避

ある大手系列のコンサルタントの担当者から、次のような話を聞いたことがある。市などの行政システムを効率的に運用できる「ある分野でのソフト」を開発した彼は、知り合いの市職員にその話をしたところ、職員は大変に感動して「わが市で発注するから是非応募してくれ」と言われたという。

そして、いよいよ募集されたので種々の準備をして応じたのだが、なかなか入札の連絡が来なかった。しばらく時間がたってから、その担当職員から「応募した社があなたのところだけだったので、発注を取りやめることになった」と言ってきたという。

このことは、かなり愚かな話だと言わなければならないだろう。職員と社員との間に癒着などがあったわけでもなし、市職員が感激

するくらいの効果のあるシステム導入により、行政の効率化や市民サービスの向上が図られるというのに、「応募が一社だからダメだ」というのである。

この市は、どこかの私立大学のように「一社（一者）との随契となる契約」を禁止しているに違いない。その理由は、職員と社員との間の不祥事に発展する可能性があるとか、今後こうした調達が続けば下心ある者が職員に接触してくるかも知れないなどという「未実現の危険の可能性」の話なのだ。

このように一社との随意契約を忌避している理由は、具体の不祥事の発生ではなく「不祥事が発生する可能性」が心配だということである。

日経新聞29. 1. 31によると、豊洲の土壤汚染対策の追加工事で、5件の工事の改札があったが4件が不調となり、工事日程がずれ込むのは必至で築地からの移転スケジュールの見直しにおよぶ可能性が出てきたという。

これは小池都知事が行ったルール改正によって、大規模工事での「一社入札」を原則認めず、「入札の透明性を高めようとした結果」なのである。必要な追加工事9件のうち、

すでに4件は新ルールに抵触して手続きが中断中だし、今回の5件についても大半が入札不調に終わったことで、影響はさらに広がることになったのである。

不透明の影に怯えていては新しい技術提案をする人もいなくなるし、こうした具体の工事遅れといった経済的マイナスも生ずるのである。しかしこれでは技術も工事も進まない。「これはわが社でなければ作れません」とか「私でなければできません」といったことを忌避し否定して、どうして「世界一を目指す」という会社や人材が出てくるのだろうか。

最近、わが国の技術開発力が弱まってきたといった話がよく出るが、それは、技術者の能力が落ちてきたからではなく、良く理解できない理屈を付けて「技術者が能力を発揮できる環境」を破壊してきたからではないか。

一社契約（＝随意契約）を忌避して、技術の進歩を期待することはできないと知らなければならぬのである。随意契約による不祥事の発生には厳しく処罰する制度を入れてでも、随意契約は避けるべきではない。この国は、これが見事に逆に回転して、手段と目的がひっくり返っているのである。

「恐れ」におののく日本の現状

一社随契を多用するNASAを考えてみるとよくわかる。世界のどこにもない突出した技術だからこそ、NASAは採用するのだ。汎用品性能の製品群では、カッシーニのような

探査機はできなかつたに違いない。

カッシーニは、2004年6月に打ち上げられ、2017年9月に土星でその役割を終えた探査機だったが、土星の衛星タイタンに探査機ホイヘンスを着陸させるなど、木星や土星についての膨大な新しい知見をわれわれにもたらしたのだった。これは世界最高の唯一の技術群・製品群で構成されていてこそ可能となったのだ。

先に、随意契約を一切やめてしまった大学の例を紹介したが、それを教えてくれた大学教授に「一社しか作れない製品を購入するときはどうするのか」と聞いたのだ。

その返事は「参加企業が複数になるまで要求スペックを下げていく」と言うのだ。これで、最高レベルの研究ができると考えているのなら狂っているとしか言えないが、しかし愚かにも、これが日本の現実なのだ。

一体何を恐れているのか。その恐れが具体化することを心配する随契忌避という「逃げの姿勢」が、研究や製品の質の向上を破壊して、日本の経済成長や競争力の向上を阻んでいるのだが、われわれはその状況を放置したまま世界に劣後していったのか。

BS11にて、寺島実郎氏がキャスターをつとめる「報道ライブ INsideOUT 寺島実郎の未来先見塾」（平成29年12月15日（金）午後8時59分～9時49分）に大石会長が出演いたします。

このトーク番組は、ニュースの背景などについて通常の報道番組では紹介しにくい世界の構造変化にまで立ち入り、その本質を探る対談番組です。

ぜひご覧ください！お見逃しの方は「BS11オンデマンド」で放送終了翌日より2週間限定で配信されます。